



今月の聖句

『朽ちる食べ物のためではなく、いつまでもなくならないで、永遠の命に至る食べ物のために働きなさい。』  
ヨハネによる福音書 6章27節

会 長 / 幡 南 進  
副会長 / 香 山 章 治  
西川 欽 一  
書 記 / 田 中 雅 博  
椿 森 昌 史  
会 計 / 石 倉 尚 尚  
五十嵐 由 紀

クラブ主題

## 継 往 開 来 —クラブライフの充実—

- 国際主題: I P Wichian Boonmapajorn (タイ) "Mission with Faith" 「信念のあるミッション」
- アジア主題: A P Edward K. W. Ong (シンガポール) "Through Love, Serve" 「愛をもって奉仕をしよう」
- 西日本区主題: R D 遠藤 通 寛 (大阪泉北) 「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"
- 京都部主題: D G 高 田 敏 尚 (京都) 「いつでも喜んでいなさい」 ~Be joyful always~
- メネット主題: RSD 遠藤 典子 (大阪泉北) 「メネットと共に メネットはワイズの応援団」

### 8 月 第 一 例 会 2015年7月29日(水)~8月2日(日) あうる京北・京都平安ホテル



## 「2015AYC in 京都」開催

AYC 委員長 香 山 章 治

2015年7月29日(水)~8月2日(日)の5日間「あうる京北」を主会場としてアジア地域各国より48名のユースが集合し、「2015 アジア地域ユースコンボケーション in 京都」が開催されました。

人見さん(パレス)、江面さん(エイブル)も午前中にはあうる京北で合流。開会式に備えてリハーサルを繰り返し、準備万端。その頃には勝山さんも合流。ホッとしたのも束の間で心配なのは私の英語での開会スピーチがどうなることやら。本番は棒読み状態でしたが、なんとかユースの皆様には伝わった様です。後はBBQで楽しくお腹を満たし、アイスブレイク。ユースはさすがに若い!! 一気に皆さん仲良くなっていきました。その日の夜、2日目の講演者であるロニー・アレキサンダーさんと桂木さんを山田(英)さんが送り届けてくれました。2人共とてもユニークで話好きな方でした。また、例会に来て下さると良いなと勝手に思っています。

#### 1 日 目 (7 月 29 日)

八木委員長率いるウェルカムチームの出番です。JR 京都駅へは森(常)さん、柳さん、石倉(メネット)さん、香山(メネット)さん。関西空港へは、八木さん、田中(雅)さん、山口(雅)さん、岡本さんでそれぞれお出迎えし、あうる京北へ向かいました。

会場では五十嵐委員長率いるレセプションチームが待ち構えています。森(繁)さん、饗場さん、左近さん、西村さんで受付。あうる京北での案内を終えた後は開会式の始まりです。

AYRの沖さんを含むユースコミティー7名は前泊しておりAYC委員会の香山、金原さん、



#### 2 日 目 (7 月 30 日)

金原・山田(英)さん二人の委員長率いるピースチームの出番です。午前中はロニー・アレキサンダーさんと桂木さんのお二人から「ポーポキ」という猫の紙芝居を私たちも英語で参加させてもらい、平和について戦争のビデオやディスカッショ

西日本区  
強調月間

## 9 月 Menettes

メン、メネットの皆様、たくさんのメネットに例会参加を呼びかけてください。  
楽しい例会にしましょう!  
遠藤典子メネット事業主任 (大阪泉北クラブ)

年間強調  
目標PR

ワイズメンズクラブの活動をホームページ等でクラブ内外の人達にアピールしましょう。

加藤信一広報・情報委員長 (京都トップスクラブ)

8 月 報 告	例会出席	BFポイント	ニコニコ	ファンド	献 血	130周年募 金
	在籍者数 41名	切 手 0g	第一例会 0円	アジア地域大会での物品販売	献 血	0cc
	第一例会 32名	現金累計 0円	第二例会 35,000円	39,926円	成 分	0名
	第二例会 33名	E F 0円	累 計 54,894円	5,616円	累 計	0cc
メイクアップ 0名	J W F 0円		合同委員会	成 分	0名	
出席率 85.4%	EF・JWF累計 0円		累 計 45,542円	成分累計	0名	
						東日本大震災復興募金
						第一例会 0円
						第二例会 0円
						累 計 6,777円

強い義務感を持つ 義務はすべての権利に伴う

"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

ンを交えた、英語力を要する少し難しい講義でした。さすが神戸大学院教授。ありがとうございました。京都駅迄は香山(メネット)さんがお見送り。

昼からはバスでかやぶきの里見学。とにかく汗がふき出る暑い日でしたが、かやぶきの家の中は風が通って涼しかったです。古来の日本建築の断熱効果はスゴイ。

その後、sweet fish catching...そう、鮎つかみの時間です。



ベースチームからは勝山さん、勝山(メネット)さん、岡本さん、倉見さん、菅原さん、椿森さん、エクスカッションチームより応援隊の山田(隆)さん、幡南会長がその場で食べられるようにBBQのセッティングをして準備



万端。鮎つかみといえば菅原さんの出番。ユースにお手本を見せながらユースは全員おおはしゃぎ。捕まえた鮎をおいしく頂きました。

夜には3日目の講演者であるステイブン・リーパーさんを2日連続で山田(英)さんに送り届けてもらい、アクションプランの準備にも参加して頂きました。

### 3日目(7月31日)

リーパーさんの講義。平和と地球環境について講演を頂きました。耳が慣れてきたのか、英語の内容が割と理解できました。地球上のCO2の1/3は米軍が放出している等、とても興味深いお話でした。ありがとうございました。

香山、金原さん、岡本さん、リーパーさんは金原さんの車で京都駅へ戻りました。岡本さんには開会式から2泊して進行を見守っていただきました。感謝です。

昼からイベントサポート・記録チームの田中一馬さん(パレス)、人見さん、江面さん、吉井さん、亀井さん、西川さん、ウェルカムチームの藤田さん、エクスカッションチームの山田(隆)さん、石倉さん、幡南さん

達はあうる京北にて合流。各国文化発表やキャンプファイアで盛り上がり、沖さんは感激でウルウル。



### 4日目(8月1日)

山田(隆)さん率いるエクスカッションチームの出番です。

早朝にあうる京北を出発し江面さん、人見さん、石倉さん、亀井さん、田中(升)さん達が同行して金閣寺を散策。その後は田中一馬さん、金原さん、五十嵐さん、菅原さん、西川さん、幡南さん、村田さん、山口(雅)さん、山田(英)さん、山田遥加さん、香山、香山(メネット)さんも合流し、錦市場から新京極を散歩しながら昼食とお買い物。

この日の宿泊場所の京都平安ホテルへ入りアクションプランの発表。各チームすばらしい内容と英語力でした。私のイングリッシュ挨拶(ボロボロでした)で中締め。ユースの皆さんからサプライズな寄せ書きを頂き感激しました!

その後はウェスティン都ホテル京都で本大会に合流し、APナイトの始まり始まり。練習を重ねてきたユースのダンスタイム。みんな決まっていたネ。拍手喝采。



### 5日目(8月2日)

私達もユースもだいぶヘトヘトになってきましたが、会場に入ればシャキッと、礼拝の進行とユースのレポート発表、そして閉会式となりました。

ユースの皆さんは、五日間の思い出と感動を胸に素晴らしい笑顔で帰途へ着かれました。

関空までの見送りをウェルカムチームの八木さん、田中(雅)さん、山口(雅)さん、車中の昼食を用意して下さった内田さん、お疲れ様でした。

最後に1年間AYC五日間の企画、立案に関わって頂いたユースコミッティーの方々、AYC委員会の皆様、本当にお疲れ様でした。また、当日は平日にもかかわらず時間を割いて遠路あうる京北まで何度も足を運んで頂き、素晴らしいサポートをしていただいたキャピタルクラブメンバーの皆様、本当にご苦労様でした。感謝申し上げます。

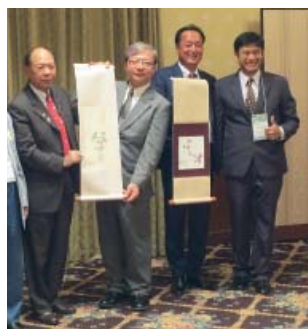
皆様のお陰をで素晴らしい「2015 AYC in 京都」を無事終えることができましたと思います。

どうぞ皆様、これからもユースに対するご理解・ご支援を宜しくお願い申し上げます。

## 東京クラブ・台北アルファクラブ懇親会

広報・ブリテン委員長 左近 宏 崇

8月1日(アジア地域大会 AP ナイト終了後)に、東京クラブより11名、台北アルファクラブより4名の方々と総勢43名にて懇親会を執り行いました。DBCの締結先であります東京クラブはもちろんのこと、菅原会長期にIBCのお話が出ておりました台北アルファクラブの方々ともお互いのクラブを知る一つの場となったのではないかと思います。



ウェルカムチーム 八木 悠 佑

私は、ウェルカムチームのリーダーとして、「2015 AYC in 京都」に関わらせていただきました。ウェルカムチームの役割は、海外・国内から来るユースのお迎えとお見送り、それからバスの運行スケジュールの管理でした。

ユースの参加者リストをいただき、関西空港と京都駅とに分かれて当日のお迎えに臨みました。関西空港では予想以上に来日観光客が多く、台湾のユースがイミグレーションで2時間近くも足止めされるというアクシデントもありましたが、何とか30分遅れで出発することができました。

遅れているユースを待っている間、先に集合しているユースが英語が理解できない私に、一生懸命自分のことを知ってもらおうと、身振り手振りで積極的に話しかけてくれました。高校で野球をやっていたが、怪我で野球を断念し、今は空手をやっているとのことでした。空手のほうが危ないと思うで!! という突っ込みは英語でできませんでした。

とにかく、英語ができるできないということよりも、自分のことを相手に知ってほしいという気持ちや、物怖じしない積極性がこれからの国際人に必要不可欠であると改めて感じました。これからの若い世代の方に頑張っていただきたいと思います。

ウェルカムチームの皆様、平日のお忙しい中、お手伝いいただき有難うございました。

また、このような機会を与えていただきました香山委員長さま、ありがとうございます。そして、本当にお疲れ様でした。

レセプション(受付)・会計チーム 五十嵐 由 紀

今回のAYCでは、主にレセプションを受け持たせていただき、当日の受付はもちろん、会計担当の森繁樹さんと一緒に参加者の着用するポロシャツを発注したり“ウェルカムキット”と呼ばれる筆記具や記念品(扇子)などを準備したりしました。

振り返ってみると、AYCで何が行われるのかもよく理解できないまま、何をすることも「英語」が立ちはだかり、必要以上に不安と無力感を感じて準備していたように思いますが、何事にも協力的で楽しいチームメンバーに恵まれ、思いの外スムーズにお手伝いできたかなと思っています。

また、個人的には、他クラブの方と一緒に会議をしたのが初めてで、色々な発見があったこと、特に代表の沖さんの多才で謙虚な姿には学ぶことばかりで、様々な刺激を受けた貴重な機会となりました。お世話になった皆さま本当にありがとうございました! ……少しは英語を勉強しようかな……?

8月2日(日)12時30分過ぎ、準備から考えると約1年半に亘ったAYCが無事終了しました。私としては実行委員会の副委員長及びピースチームの委員長としての役目を無事終えることができたこととなります。

ピースチームとしての大きな役割は、今回のAYCのテーマである「Learning To Have Peace」の学びを得るためのメインプログラムである2つの講演と、それに関連するアクティビティ(エクスカージョン)の計画及び実行でしたが、何とか満足して頂けるプログラムが出来たのではないかと、胸をなでおろしています。

ユースの皆が、各々自国に帰ってから、各々が思う「平和」の実現のための具体的な行動目標をあれほど真剣に、あれほど見事に完成することができたのも、ロニー・アレキサンダー先生、スティーブン・リーパー先生というすばらしいお二人の講師を招くことが出来たこと、そしてユース・コミッティを始めとし、このプログラムにご協力いただいた全ての皆様のご尽力のお陰と感謝いたします。

今回のAYC参加ユース全員が、自国に帰って各々自分が立てたアクションプランを実行してくれることを願い、そして、そのことが彼らのこれからの人生の大きな礎となることを願って……

エクスカージョンチーム 山田 隆 之

第26回アジア地域大会の中でも大変重要な行事である、「2015 AYC in 京都」をキャピタルクラブの総力で乗り切ることができ大変感謝しております。

委員会発足から1年、長いようで短い期間でしたが、AYCをやり遂げたことでキャピタルクラブの団結も一層深まったと感じております。

京都エクスカージョンチームは市内観光を担当する委員会として、前日の7月31日(金)から禁酒禁煙の大変厳しい制約の中、あうる京北に宿泊、8月1日(土)の早朝からバスで京北町を出発、京都のシンボルでもある金閣寺を訪問し、古都の文化を堪能していただきました。その後、市内の中心地までバスで移動し、京都の台所である錦市場を散策しながら昼食会場に向かいました。

酷暑の中、迷子になるユースを探しながらの移動に大変疲れました。昼食後、新京極商店街でショッピングを楽しみながら、宿泊先の京都平安ホテルまで送り届けエクスカージョンチームの役割をおえました。

ユースの感想

「2015 AYC in 京都」を終えて



2013-2015 直前アジア地域ユース代表 沖 麻実 (広島クラブ推薦 福山YMCA 外国学院職員)

“ユース間の絆を深め、1人1人がChange Makerになれるという意識を持ってもらいたい。”この「2015 AYC in 京都」で、最も重点をおきたい点として、企画時にあげた目的です。

ここでいう“Change Maker”とは、問題を知り、現状をより良くする為に、自らアクションを起こせる人を意味しています。そのステップとして、アクションプラン作成に参加者ユース全員で取り組み、発表を行いました。

白熱したディスカッション、平和について深く考えさせられたゲストスピーカーによる講演、全員で一丸となって練習をしたAPナイトダンス練習、5日間という短期間のプログラムでしたが、どれもとても充実した内容になりました。これもAYC開催にあたり、香山委員長をはじめとした委員会の皆さまの親身な対応ときめ細かいサポート、ユースコミッティたちの素晴らしいリーダーシップ、そして参加者ユースの皆さんの団結力があったからこそと思っています。

アジア地域ユース代表(AYR)を務めたこの2年間は、私にとって生涯忘れることのできないとても濃い期間でした。リーダーとして、ユースたちをどのようにリードすれば良いのか悩んだこともありましたが、今振り返ってみれば、そんな思い悩んだ期間も成長のための良いステップであったと思います。AYRを経験できて、本当に良かったと思っています。またこのAYCを機に、今後も自分が置かれた場所で、次なる目標に向かって頑張っていきたいと思っています。

これまで常に親身になってサポートしてくださったワイズメンズクラブの皆さまには大変感謝しております。本当にありがとうございました。



### Kaori Okada (Japan & Philippines) (神戸 YMCA 学院専門学校 神戸クラブ推薦)

まず初めに、「2015 AYC in 京都」の成功のために支えて下さった皆様へ感謝いたします。私はこのコンボケーションの参加者の一人になれたことを光栄に思います。

私は当初、言語や文化の違いがあるにも関わらず、これほどまでにみんなが互いに心地よく過ごし、親しくなるとは思ってもいませんでした。アクションプランを作成するためのセッションでは、さまざまな視点による多くの興味深いアイデアに驚かされました。

平和の大切さへの理解を深めるため、ポーポキを使ったロニー・アレキサンダーさんのワークショップはシンプルでしたがとてもよかったです。また、ステイーブン・リーパーさんの講義では、特に、人々にとって持続可能な独自の環境をつくるという計画が素晴らしかったです。

もちろん、かやぶきの里見学や鮎つかみも本当に楽しみました。ですが、何よりも一番よかったのが、セッションの後の夜、ダンスの練習、アクションプランの作成、それぞれが素敵な才能を見せたカルチャーナイト、すべてがマジカルだったAPナイトを通して、世界の様々な地域の新しい友達とかけがえのない絆を結んだことです。

「2015 AYC in 京都」で、5日間様々な文化背景をもつみんなと「平和」を感じられたことは、わたしにとってすばらしい経験となり、決して忘れられないものとなりました。互いを尊重することを学べば、平和は成遂げられると思います。ありがとうございました。



### 金子 彩 奈 (埼玉クラブ推薦)

新しい世界と出会うこと、新しい知識を得ることだけにめいっぱい時間を使うことができたこの5日間は、とても贅沢で幸せな毎日でした。

私の拙い英語でコミュニケーションはとれるのだろうか、そんな不安は一瞬で吹き飛び、想像していた以上に沢山の友人ができました。

友人たちはとても熱心に話を聞いてくれました。とても優しく話をしてくれました。

新しい友人たちとまわった日本は、新しい発見がたくさんでした。

台湾の女の子達はドラッグストアに行きたくて、いつもと同じそこはその時ワンダーランドになりました。

知らないカードゲームをいっぱい教えてくれました。

将来の夢を一晚中語り合い、いろんな歌を身体中でうたいました。

5日間で得たもの、経験は私の大切な宝物です。

願わくば、来年台湾でみんなに再会できますように。そして、もっと多くの友人が参加し出会いが広がりますように。

関わってくださった全ての皆様、素敵な日々をありがとうございました！



### 香山 紫 保 (京都キャピタルクラブ推薦 コメット)

この度は日本で、貴重な経験をありがとうございました。

プログラムの中で強く思ったのは、能力に年齢は関係ないということです。平和について考えるみんなの発言は的をえており、わたしより年下の人でもしっかりした人たちがばかりで、本当に驚きました。そんな中で日本人にも海外の人にも多くの友人ができました。モンゴルの民謡、台湾のダンス、中国の縦笛など、カルチャーナイトも忘れません。自分の中での気づきも多く、自分の背中を力強く押してくれる経験ができたことを嬉しく思います。本当にありがとうございました！



### Akeem Cabarron (神戸 YMCA 学院専門学校 神戸クラブ推薦)

アジアユースコンボケーションでは新しい友達ができ、また、世界の様々な問題について学び、その解決策について共に考えるととてもすばらしい機会でした。このようなイベントに参加したのは初めてでしたが、全く悔いはありませんでした。本当に楽しいアクティビティがたくさんあり、多くのことを学びました。私はこの世界の一人のユースとして、ニュースなどでは知ることができないような多くの問題に目を向けさせられました。広い心、新しい友人たち、英知、そして世界をよりよく変えていこうという希望と共に、このコンボケーションを終えることができました。



### 関 つぐみ (京都 YMCA 職員 京都パレスクラブ推薦)

今回、アジアユースコンボケーションに初めて参加させていただきました。さまざまな文化背景をもつ同世代の仲間たちと「平和」について議論し、時には夜遅くまで熱く語り合うなど、忘れられない貴重な経験をすることができました。

普段、日常の業務に追われ、「学ぶ」という機会から遠ざかっていた私にとって、ロニー・アレキサンダーさんやステイーブン・リーパーさんの講演、さまざまなセッションやアクションプランの作成などのすべてが新鮮で、「学ぶ」ということがこんなにもおもしろいものだったということ思い出させてくれました。

そして言語や文化の違いによらず、参加者みんなが、すべてのプログラムに本気で取り組み、お互いのことを本気で分かり合おうとしていたことが素晴らしかったです。互いを尊重し、心を通わせれば言葉は関係ありません。「言葉よりコミュニケーション。」この言葉をとっても強く感じた5日間でした。そして、これこそが平和への第一歩であると思います。

今後の業務でも、自分の「学び」の機会を大切にしながら、自分から進んで踏み出し、チャレンジしていきたいです。

最後に、「2015 AYC in 京都」に参加させていただき本当にありがとうございました。このコンボケーションに関わってくださった皆様へ感謝いたします。



### 永 坂 仁 (東日本区ユース 宇都宮クラブ推薦)

今回のAYCは、私の初めての体験となるユースコンボケーションであり、それは感動の連続でした。

アジアの中の様々な地域の方々が集まり、英語を使ってコミュニケーションを取らなければいけないことに若干心配していましたが、AYCで活動していく中でその心配もなくなっていました。

初日のコンボケーションではみんなで踊りをしたり、アイスブレイクとしてゲームをしたり、とても楽しい気分が緊張もほぐれ、積極的に海外のユースの人たちとコミュニケーションが取れたと思います。そしてAYCの課題である、アクションプランを話し合うセッションでは、とても深くまで掘り下げた議論をし、自分自身のアクションプランの改善点も多く見つけたり有意義な時間でした。最終的には東日本区でのアクションプランに自分のプランは採用されませ

んでしたが、色々なバックグラウンドを持つ人たちと一つのプランについて議論し、計画表を作って行くのは楽しかったです。このような貴重な経験をさせて頂き本当にありがとうございました。そして今回のAYCに参加した台湾のユースの方々に来年のIYCも絶対に行く約束したので、是非来年のIYCにも参加したいと思います。



**中島 敬之 (京都大学 YMCA OB 京都ウイングクラブ推薦)**

国際会議・国際プログラムに参加する度に思う事として「世界はこんなにも開かれているのか」ということがあります。大学院に進学し、日々専門性を高め視野が狭くなっていく日々を過ごす中で、自分の研究はどのような価値があるのかという疑問が常に絶えることがありません。今回はそのような生き苦しさを覚える中での参加となりました。

世界単位での問題にアプローチを行いつつも、自分自身の問題と向き合う時間を取れるYMCA・Y'sのプログラムには何度救われてきたかわかりません。興味がない人には鼻で笑われてしまうかもしれないような途方もなく大きな問題に向き合い、自分の非力さと可能性を感じることのできる贅沢な時間を体験できる場面に再び立ち会えたこと、非常に感謝いたします。各々が持っている体験・知識が異なるために、意思疎通がうまく行かず、時にはぶつかることもありました。互いに思いをぶつけあひながら一歩一歩事を進めていく経験はなかなか他では得難いことだと感じます。この体験を自身の糧としながらも、次の世代にも引き継いでいけるように今後も精進してまいります。

**二之方 良枝 (広島女学院大学 学生YMCA 広島クラブ推薦)**

今回の「2015 AYC in 京都」は私にとって、IYC2014, Chennaiに続く2度目のユースコンボケーションでした。AYCの本番5日間の中での私の一番の驚きは、「自分の中の変化」です。前回自分がいかにこのチャンスを楽しくむかに必死で、どうやって他の参加者と仲良くなろうか、何を話そうか、そんなことを考えてずっとおどおどしていました。しかし今回のAYCでは、参加者ユースを迎えた瞬間から「Welcome〜!」と、自分でも驚くほど誰よりもオープンで楽しんでいる自分がありました。この私の変化は周りにも大きく伝わったようで、期間中、IYRのAfolabiには「Is that really Yoshie that I met in India?!」(本当にインドで会ったあの良枝なの!?)と驚か

せるほどでした。誰よりも大きな声で率先して喋り、常にたくさんの人と時間を過ごし笑い合う。そんな当たり前に「私らしくいること」が、今回は自然と出来ていました。

私にとってのAYC2015を一言で表すと、「希望」です。IYCでの経験を通して自分自身が大きく「飛躍」したことを身をもって実感し、今後の自分のさらなる成長に希望を持つことができました。ユースのみんなとの出会いという奇跡と、その奇跡を実現して下さったワイズメンズクラブの皆様、心より感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。



**船越谷 充 昭 (札幌YMCA 英語・コミュニケーション 専門学校 札幌クラブ推薦)**

今回AYC京都に参加して、私はとても貴重な経験が出来、充実した時間を過ごすことが出来ました。

AYCが始まる前の準備期間中、私は少し不安でした。それは他の東地区の方々と離れているというのもありましたが、違う国の方々とうっかりコミュニケーションがとれるのか、各プログラムについていくことが出来るのかなど、自分なりに考えを巡らせることが多々ありました。ところが、実際に参加し始めるとそのような不安は一気にふっ飛びました。

そのようなことを考えていたのも忘れてしまうくらい、自分にとってとても濃い時間がそこにはありました。

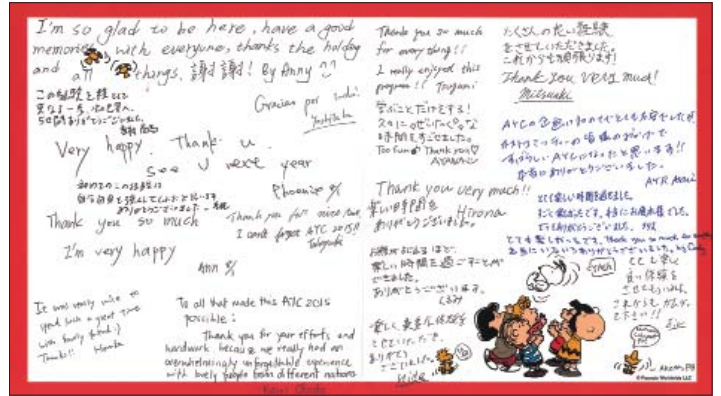
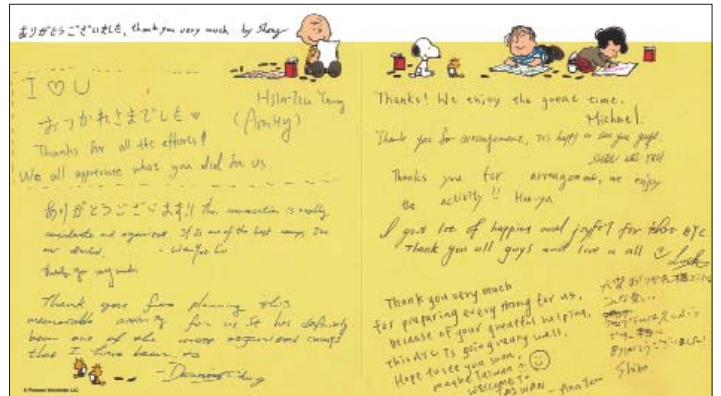
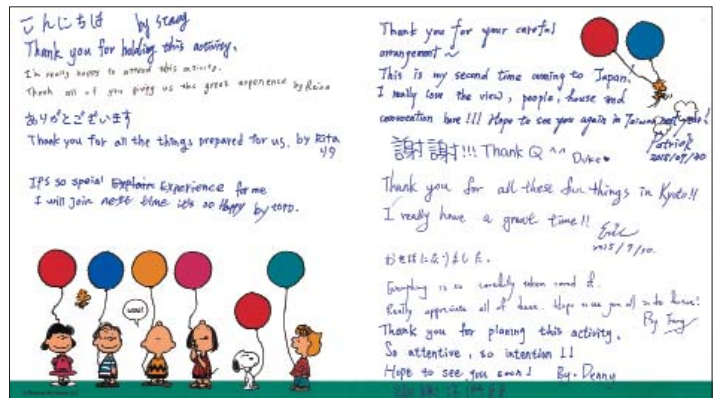
“Learning to have peace”のテーマで進んだ各Sessionでは他のアジア地域の人々の様々な角度からの意見を聞きましたが、住んでいる国が違って平和に対する考えの芯となる部分はやはり皆同じものなのだなと感じました。

また、「2015 AYC in 京都」は自分が成長する良いきっかけにもなりました。そういった意味で、今回の全プログラムには楽しい参加出来たのですが、その分自分自身についての課題も見つけることになりました。まず、自分の意見を述べるための語学(英語)力が足りないと感じました。そして、平和に対する考え方も変える必要があると感じました。

また他には、プログラム以外にも違う国の人と話をする機会が沢山あって、自国のことを英語で色々話したりしてとても有意義で楽しい時間を過ごすことが出来ました。

自分にとって大変なことがいくつもありましたが、その分学び成長し、楽しむことが出来ました。これらの経験はこれからの人生を生きていく上で、大いに活かされることだと思っています。

また、最後になりましたが、このような素晴らしい経験が出来たのは、AYC committee membersの方々やそのほかのAYCのスタッフの方々の方が早期より様々な準備をしてくださっていたおかげだと思っています。また、AYC京都の参加者皆様にも大変お世話になりました。この場をお借りしてお礼を申し上げたいと思います。本当にありがとうございました。AYC京都に参加出来て本当に良かったです。



ユースからの寄せ書き(2頁4日目参照)

# 第26回アジア地域大会 盛会裡に終わる

2015年7月31日～8月1日 ウェスティン都ホテル京都

## 7月31日(金)

京都市内は猛暑の中、アジア地域大会が午後1時30分開会。  
司会：田中博之氏(東京クラブ)の流暢な英語アナウンスにて進行

### 式典の部



国際役員

国際会長ならびに国際役員の方々が聖書、鐘、アジア地域のフラッグの入場で開会セレモニーが始まりました。岡野泰和直前アジア地域会長の開会宣言、ワイズソング、島田茂日本YMCA

同盟総主事より 聖書朗読、祈祷、開会挨拶(岡野泰和 APAP)、今回のアジア地域大会委員長 Oliver Wu氏より歓迎の辞があり、国際会長、国際会計、アジア地域会長および執行役員就任式が元国際会長の藤井寛敏氏(東京江東)の進行にて執り行われました。続いてアジア・パシフィック YMCA 同盟総主事の山田公平氏、国際会長 Wichian boonmapajon氏、門川大作京都市長より祝辞がありました。

### 基調講演 「Present from the universe」

#### 毛利 衛 博士

博士は1992年、スペースシャトル エンデバーに科学者(日本国籍保有者)として搭乗、初めてスペースシャトル計画に加わった宇宙飛行士です。

その後、2000年に2度目の宇宙飛行に参加、国際宇宙ステーション(ISS)のミッションスペシャリスト(搭乗運用技術者)としてレーダーによる地球の地形の精密な観測を行った。

ISSは地上から約400km上空に建設された巨大な有人実験施設、大きさはおよそサッカー場ほどで、アメリカ・ロシア・欧州・カナダなど世界15カ国が参加。1周約90分というスピードで地球を周回、大気圏は約100Kmで薄皮の様に地球を取り囲んでいて太陽からのあらゆる有害な光線から地球を守っている。

ISSは宇宙ならではの特殊な環境を利用し、さまざまな分野の実験・研究、地球や天体の観測などを行っている。例：(カエルの宇宙遊泳・水滴が水玉になる様子)(宇宙食は日本のカレー・赤飯など)飛行士仲間に好評、博士の「宇宙からは国境線は見えなかった」との言葉が印象に残り、地球上に暮らす我々人間だけではなく、あらゆる動物・植物が共存し環境を守り、全体的なバランスを考え繁栄を持続し続ける努力をしなければならない。「決して一人では生きて行けない」、「一人勝ちはできない」、個から全体へ「生命のつながり」の大切さを力説されました。

### 直前アジア地域会長ナイト(PAPナイト)

午後6時30分、韓国地域会長挨拶があり岡野泰和(PAP)より歓迎の挨拶、各区の紹介の後、京都五花街による華やかな京舞を披露、食前感謝は神崎清一京都YMCA総主事。続いてEdward K.W.Ong(AP)氏より各国の言葉で乾杯のご挨拶、会場内では、尺八、お琴、による日本の曲が演奏されていました。その後閉会のお祈りへと移り1日目のプログラム終了。ファン作りにも貢献しました



## 8月1日(土)

午前11時30分からエクスカージョン

日本の伝統芸能「能」の観劇(東京クラブ細川夫妻参席)

京都関西セミナーハウス<修学院きらら荘>にて最初に館内にて能楽師 河村晴久氏より事前に「能」の歴史、舞台構造、楽師、能面、カマエ(立ち方)、腕の動き、スリ足(歩き方)により喜怒哀楽の所作など詳しい解説を受けて、今回の演目「清経」の物語。

平家一門が都落ちした後、ひっそり暮らしていた平清経の妻のもとへ悲報があり形見の品、清経の遺髪を手渡され悲嘆にくれます。夫への思いは募り夢枕に清経が現れ死に至る様子を語り、極楽往生を願い入水を示し、死後の修羅道の惨状を表し、念仏によって救われる物語の能が、セミの鳴き声と心癒す爽やかな風の中、野外の能舞台「豊饗殿」において始まり、舞台を見ていると暑さを忘れるほど物凄い迫力で演じておられました。

### アジア地域会長ナイト(APナイト)

午後6時30分 開会。岡野泰和(PAP)より各種表彰が行われた後、Edward K.W.Ong会長より歓迎の挨拶があり、神崎清一京都YMCA総主事より食前感謝、次期アジア地域会長 Tung Ming Hsiao氏より乾杯のご挨拶がありました。

アジア文化ナイトにおいては各国から代表曲を披露されました。

午後7時過ぎ我々キャピタルクラブが担当したユースコンボケーションに参加のユースによるパフォーマンスの時間。

「R.Y.U.S.E.I」 by J Soul Brothersのダンス、続いて[YMCA]の曲、全員を巻き込んで会場が盛り上がりました。その後舞踏会(APボール)に移り、閉会の祈りにて終了。9時過ぎよりホテル内にてDBCの東京クラブと台北アルファクラブとの親睦会が行われました。

## 8月2日(日)

午前9時10分から聖日礼拝の後、西村隆夫(国際書記)、Edward K.W.Ong(AP)、Youth Memberにより報告があり、続いてIBC/DBC締結式に移りました。

第27回アジア地域大会プロモーション(シンガポール)、第72回国際大会プロモーション(台湾)と続き、遠藤通寛西日本区理事、Oliver Wu(アジア地域大会委員長)、森田美都子(アジア地域大会実行委員長)の謝辞があり、Edward K.W.Ong(AP)の閉会挨拶があり閉会しました。

参加国：ナイジェリア・カナダ・スイス・ルーマニア・リトヴィア・ウルグアイ・インド・韓国・オーストラリア・U.S.A・タイ・シンガポール・香港・モンゴル・台湾・日本(東・西)  
参加者：914名 ユースコンボケーション参加者：48名

(勝山廣一郎 記)



第72回台湾での国際大会へアピール

## 納涼例会と AYC 打ち上げ例会

ブリテン委員 岡本尚男

浴衣姿の幡南会長と香山 AYC 担当委員長の晴れやかな顔は、大きな事業をやり遂げたという安堵感とそれを支えた各委員会の皆さんへの労いの笑みで溢れていました。夏の装いに身を包んだメネットさん達の艶やかさと相まって、今日の第二例会は開会前から盛り上がっていました。

会長の開会の挨拶、香山さんの挨拶の冒頭だけの英語は、「あうる京北」での開会式のスピーチとは格段の上達が見られました。5日間の英語漬けの毎日が偲ばれるものでした。

AYC 事業の各パートを支えた委員長の委員皆さんへの感謝の労いの挨拶の後、香山さんの乾杯の音頭で例会は一気に盛り上がりました。ドライバー委員会の苦勞の仕掛けのあるビンゴゲームの声も聞き取りにくいぐらいで、あっと言う間の心地よい時間が流れました。

中締めのご挨拶で、鮎つかみ



にご参加下さった菅原さんからは「ふるさとの 昔を想い鮎をおう」の俳句が披露され、そのセンスの良さに感服の声があがりました。キャピタルクラブから唯一のユースコンボーション参加の香山紫保さんは、このような機会を与えて貰えて自分の人生に何かの影響を与えた機会になり、日本だけでなく国を越えての友人も出て、クラブの皆さんと両親に対する感謝のご挨拶が華を添えました。

気持ちのよい人柄のメンバーと心地よい時間を過ごしながら、人生を磨いたであろう、今回の経験は、参加された皆さんにとっては多分、一生に一度の貴重な経験であり、この仲間たちの存在が醸し出す力が、ご自分の人生にとっての宝となる事を願っています。

二次会に足を運んだ皆さんも、尽きる事のないクラブ談義で話が弾んだ事でしょう。

## 私はこんな仕事をしています

### 「西陣織 紋意匠」

五十嵐 由紀

1467年に起こった“応仁の乱”で、山名宗全率いる“西軍の陣地”が置かれていたことから「西陣」と呼ばれるようになった地域で織られる「西陣織」の「紋意匠図(=織物設計書)」を製作するのが私の仕事です。

西陣織とは、きもの等の白生地に柄を描くように染料をのせる“後染め”とは違い、先に染めた様々な色彩の絹糸や金銀箔・金銀糸などをふんだんに使用し、経糸と緯糸の交差によって柄を描き出す「先染織物」で、主に帯やネクタイ、金襴(袷袋など)があります。

仕事の内容を簡単に表現すると「デザイン画のイメージ通りに織物が織り上がるよう、織機を動かすプログラムを製作する」という感じでしょうか。

とてもマイナーな仕事ですが、祖父から受け継いだ、そして西陣の地で頂いた新しいご縁を大切にしながら、丁寧な仕事を続けていければいいなと思っています。

### 「絵に描いた餅」の設計と現場を繋ぐ

亀井久照

私がこの仕事を始めたのは1992年、25才の時でした。

それまで勤めていた会社を飛び出し、それまで関わっていた大手ゼネコンの現場所長に「今日、会社を辞めてきました。現場で私を使ってください」と直談判してフリーランスのような立場になりました。

当時、私は設計事務所に勤めていましたが、今のようにインターネットも無かったので、会社内で得られる知識や情報に物足りなくなり、工事現場で実際のものづくりを見ないと図面が描けないと思ったからです。

しかし現場では私の描いた図面で職人さんが仕事をするのですが、職人さんが頻りに私のところに「ここはどうなってる。平面

図と断面図が食い違ってる」等々。挙句には「いちいち聞きに来るのは大変やから、お前が現場に来て説明しろ。こっちは仕事が進まんとカネにならんじゃ!」。自分の未熟さを思い知らされました。それから少し知恵が付き、開き直って職人さんにはわからない事は素直に「分からんから教えてください」と言うと、イカツイ職人さんも丁寧に教えてくれました。

若い時の特権で何を聞いても恥では無いと同業の先輩からアドバイスを受けていたので、分からない事は何でも聞きまくりました。

そして1993年に完成した、大津市の「旅亭 紅葉」は自分で描いたものではありませんでしたが、数千枚の図面と現場に関わった事が、現在の仕事に続くきっかけになっています。今はありませんが、かつてクラブの例会をしていたパークホテルと同じ会社でした。

### 「商品にお化粧をしています」

西村融正

私の会社では、「貼り箱」と呼ばれる紙の箱(パッケージ)を作っています。貼り箱とは厚み1~2mmの板紙に和紙や柄物の包装紙などが包み貼りしてあるしっかりした箱です。和菓子やお茶の進物用の箱やスマートフォンの箱も貼り箱が多いです。

他にも色々あります。みかん箱に代表される段ボール箱。「牛乳石鹸」「グリコのビスコ」「森永のミルクキャラメル」などの箱はトムソン箱といいますが、普段は気にも留めない紙の箱ですが、なんとなくイメージしていただけたでしょうか?

近年箱は、中身を保護し運搬しやすくするという本来の役割から、商品イメージや企業イメージまでも発信するツールとして重要視され、それ自体が商品の一部であるという考え方が定着しつつあります。

女性は自分をより良く見せるためにお化粧をされます。私の会社も商品をより良く見せるお手伝いをしています。貼り箱という化粧箱を通じて。

## 猛暑のなかでのパープル会

交流委員長 田中 升 啓

連日暑さが厳しい8月9日(日)に、日清都カントリークラブにてパープル会が開催されました。この夏の暑さはハンパではなく、用事が無ければ外に出たくはありません。そんな中でのゴルフ、みんな汗が止まらず、大型水筒を持参した方や、ペットボトルを数本買い込んでプレーに挑みました。下手くそな私はバンカー地獄に陥ったり、右や左に走り回ることも多く、ものすごく大変でした。しかしキャピタルメンバーの皆さんと、ワイワイ言いながらプレーするのはとても楽しいです。今回の優勝は香山さんでした。ただいま新規パープル会メンバー募集中です。上手い下手は置いて、楽しくプレーできるので、ぜひご参加ください!!

参加者：石倉、香山、田中(升)、椿森、西川、西村、橋本(特別参加) 計7名

### 第5回 AIDS 文化フォーラム in 京都 プレイベント ワトト・コンサートツアー 2015

日時 9月29日(火)午後6時30分～8時  
(午後6時開場)

場所 京都府立府民ホール アルティ  
参加費 無料(要申し込み) 定員 400名(先着順)  
申し込み・お問合せ AIDS文化フォーラム in 京都  
ホームページ <http://hiv-kyoto.com>

### HAPPY BIRTHDAY

メン	菅原 縦一	9月11日	長谷川幸昌	9月11日
メネット	山口 弘子	9月16日	山田とも子	9月20日
	菅原由利子	9月20日		
コメント	山口昂一郎	9月9日	山田 智也	9月12日

### HAPPY ANNIVERSARY

亀井 久照・三千代 ご夫妻 9月15日  
吉井 崇人・香 月 ご夫妻 9月17日

**聖句の解説** 雇用不安の中で、働くということが難しい時代になってきました。一生懸命働いても、いわゆる「食えない」という言葉が頻繁に使われる社会です。

しかし、本当に日々の食べものがないほど、私たちは貧しいのでしょうか。実際はあり余るほどの食べ物に囲まれているながら、「食えない、食えない」とつぶやいてばかりいるのではないのでしょうか。結局、明日を信じられぬ不安感が、「(明日は)食えない(かもしれない)」という気持ちに私たちを駆りたてるのです。

また同時に、簡単に朽ちてしまうようなことのために時間を費やしていないか、日々の生活を無意味なことのために浪費していないかどうかについても、よく吟味する必要があります。見栄えのいい、カッコのいい事柄だけに目を奪われて、地道な、目に見えにくい仕事をないがしろにはしていないのでしょうか。

神の国とその義を本当に求めていくのなら、たとえお金にはならなくても働くべきことはたくさんあるはず。特にYMCAの精神に触れて生きようとする者は、その永遠の命に至る食べ物とは何であるかを、人々に告げ知らせる使命をも担っているのです。

## 第2回 役員会議事録

2015年8月25日(火) 19:00～21:00  
ウェスティン都ホテル京都 平安の間

### 〈西日本区・京都部報告〉

京都部 PR 委員会懇談会

8月28日(金) YMCA 三条本館 3名出席予定

阪和部部会 9月12日(土) 奈良商工会議所 6名出席予定

〈三役会報告〉 内廣さん「奈良傳賞」受賞祝賀会の件→9月末～10月上旬に開催予定/会費減免の件、舞鶴ワイズメンズクラブ設立の件、IBC 検討の件、各部会参加の件、メネット懇親会の件、メネットファンドの件

### 〈各事業委員会報告〉

- YMCAサービス・ユース事業委員会 8月の募金額の報告/リトセン秋の準備ワークについて/研修会 EMC 委員会と共催を検討
- 地域奉仕・環境事業委員会 ふれあい広場 11月3日(火・祝)/ベテスタ祭り 10月12日(月・祝)/SO チャリティー トーチウォーク 2名参加予定/TOF例会 環境に関する例会について
- ドライバー事業委員会 8月第1例会「アジア地域大会」、第2例会「納涼例会&AYC打ち上げ例会」の報告/9月第1例会「講師：高島寿周様(高島易断)」、第2例会「メンバースピーチ例会」について/10月第1例会「ファンド例会」、第2例会「メンバースピーチ例会」について
- 交流事業委員会 アジア地域大会時の交流事業について/東京クラブ及び台北アルファクラブとの懇親会について/今後のIBCについて/DBC事業について/YEEP・STEP事業について、10月もしくは11月例会にて、報告と感想をいただく予定
- ファンド事業委員会 お花ファンド、お得ファンド、お楽しみファンドについて/ファンド例会を10月第1例会にて開催/じゃがいもの販路拡大のためのチラシ作製/荷受け 10月18日(日)/アジア地域大会での物品販売について/8月度合同委員会の報告/9月のお得ファンドについて
- 広報・ブリテン事業委員会 9月号、10月号の骨子について
- EMC事業委員会 8月例会 出席率の報告について/12月第1例会「EMCアワー」について/YES献金について

### 〈審議事項〉

松井さん 会費減免額について 承認

### 〈その他〉

第3回三役会 9月19日(土) 19:00～ 於：石原

第3回役員会 9月29日(火) 19:00～

於：ウェスティン都ホテル京都 平安の間

### 編集後記

アジア地域大会・AYCの特集号をお届けでき皆様に感謝です。今月号はブリテン委員会にとっても一大イベントでした。

寄稿頂いた皆様、ユースの英文原稿の翻訳にご協力頂いた神崎様、有難うございました。

広報・ブリテン委員長 左近 宏崇

